



統合報告書
2024年6月期





北海道 新桂沢ダム



東京都臨海副都心 自動運転実証実験



ヘリによる土壌藻類資材の散布 (BSC工法)



能登半島地震災害復旧・復興

ID&Eグループ経営理念

誠意をもってことにあたり、 技術を軸に社会に貢献する。

想像を超えるスピードで変化する社会、それに伴い複雑化する社会課題に対し、ID&Eグループは誠意をもって解決することをビジネスの中心に据えています。その根底には、日本工営創業者の久保田豊が持つ新たな事業に立ち向かう開拓者精神、そして技術に代表される「知」の集積を軸にソリューションを提供し続けることで、現在まで成長してきた歴史があります。

時代とともに変化するグローバルな社会課題に対し、正面から向き合い、その解決のために変化を恐れず成長し続けるコンサルティング&エンジニアリング企業集団として、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



ベトナム ラックフェン国際港



バングラデシュ ダッカ6号線



ウクライナ復旧・復興支援



ケニア モンバサ地域周辺開発

私たちが目指すべきところ

Mission

私たちの使命

世界をすみよくする

常に志を高く持ち、自らの技術を磨くことに励み、蓄積された技術力をサービスとして提供する

Vision

なりたい姿

唯一無二の価値を提供する会社

結束したグローバル企業集団に進化、2030年目標は世界ランキングトップクラス

Values

共通の価値観

誠意をもってことにあたれば、必ず途は拓ける

「挑戦する気概」「スピードを大切にする」「事業家マインド」
「ステークホルダーサティスファクション」



新中期経営計画とマテリアリティ

中期経営計画

Building Growth 2027

主力3事業の持続的成長と事業間の共創による事業領域の拡大

展開策

成長に向けた改革

マトリクス経営の展開

人財・技術の進化



鹿児島県 新首木発電所



長野県 美和発電所



ベルギー Ruien 蓄電所



北海道 阿寒マイクログリッド

マテリアリティ

長期経営戦略においてマテリアリティを策定し、2024年に改定しました。

IDEALな世界の実現に向けて

分断・格差のない
世界の構築

すみよい地球環境の
実現

共創による新たな
社会課題への挑戦

多様なグループ人財の
活躍

誠意と技術を軸にした
グループ経営

At a glance

創業

1946年*



創業者の久保田豊が戦後復興を志し1946年*に創業しました。
75年以上経った今も、創業精神は経営理念に受け継がれ、現在も私たちの胸に脈々と流れています。
*日本工営の創業年

グループ従業員数



社会課題の解決を目指し、国内外の従業員一人ひとりが挑戦を続けながら活躍しています。常にプロフェッショナル人財の発掘と育成に努めています。

日本国内売上



日本工営は、国内の建設コンサルタントとして売上No.1*の地位を築いています。
*出典：日経コンストラクション2024年4月20日号 建設コンサルタント国内売上高ランキング

海外実績

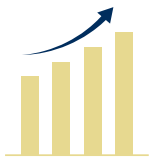
160以上の国と地域



創業時から海外で社会資本整備に携わり、さまざまな日本の技術を海外に提供しています。

連結売上規模

1,589億円



コンサルティング、都市空間、エネルギーの3セグメントがそれぞれに成長を続け、売上規模は年々拡大しています。

編集方針

各種報告書・開示情報の位置づけ

本統合報告書は、ステークホルダーの皆様へ向けた統合的コミュニケーションツールとして発行しています。本書を通して、創立時から現在までの企業姿勢や、さらなる企業価値向上への取り組みを深くご理解いただくことを目指しています。編集においてはIFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」を参照しています。
* 当社グループで働く全ての人は貴重な財産であるという考え方から、「人材」ではなく「人財」と表記しています。

対象期間：2024年6月期（2023年7月～2024年6月）を原則としつつ、一部2024年7月以降の情報を含みます。

事業戦略・財務情報	サステナビリティ情報
統合報告書（本書） https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/library/integrated-report/	
ウェブサイト/投資家情報 ・経営方針 ・個人投資家向け資料 （決算説明会資料、株主通信） ・財務・業績 ・IRライブラリー ・IRカレンダー ・株式情報 https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/	ウェブサイト/サステナビリティ ・サステナビリティに関するデータ ・サステナビリティマネジメント・基本方針 ・マテリアリティ https://www.id-and-e-hd.co.jp/sustainability/
有価証券報告書 https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/library/financial-report/	コーポレートガバナンス報告書 https://www.id-and-e-hd.co.jp/sustainability/governance/corp-governance/
株主総会招集通知 https://www.id-and-e-hd.co.jp/ir/shareholders-meeting/	サステナビリティ・レポート https://www.id-and-e-hd.co.jp/sustainability/sustainability-management/report/

本書における報告の対象範囲

ID&Eホールディングス株式会社の他、日本工営株式会社、日本工営都市空間株式会社および英国建築設計会社のBDP Holdings Limited.、日本工営エナジーソリューションズ株式会社、日本工営ビジネスパートナーズ株式会社、その他グループ会社を対象としています。対象範囲と本書における呼称の関係は以下のとおりです。

対象範囲	本書における呼称
ID&Eホールディングス（株）	ID&E
日本工営（株）	日本工営
日本工営都市空間（株）	日本工営都市空間
BDP Holdings Limited.	BDP
日本工営エナジーソリューションズ（株）	日本工営エナジーソリューションズ
日本工営ビジネスパートナーズ（株）	日本工営ビジネスパートナーズ
その他グループ会社	

主要グループ会社

見通しに関する注意事項

本統合報告書の記述には、当社グループの将来の業績などに関する見通しが含まれています。これらは現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくもので、さまざまな要因により変化することがあり、これらの見直しおよび将来の業績を保証するものではありません。

海外売上比率



世界水準の技術で地域に暮らす人々のニーズに向き合い、海外売上比率を伸ばすことを目指しています。

年間プロジェクト件数



国や地域、日々の暮らしの中にあるさまざまな問題解決を目指し、数々のプロジェクトで挑戦を続けています。

グループ会社数



グループ各社が一丸となって課題解決・価値創造を推進しています。今後もネットワークを拡大し、さらなる成長を遂げていきます。

取得特許数



独自研究施設を持ち、研究開発を推進しています。

コーポレート・ガバナンス

指名委員会等
設置会社



実効性の高いコーポレートガバナンスを目指しています。

統合報告書2024の発行にあたって

ステークホルダーの皆様へ、ID&Eグループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えし、さらなる対話のきっかけとすることを旨として「統合報告書」を発行しています。

本年は、新たに策定した中期経営計画を説明し、長期経営戦略における価値創造の道筋を表出させることを目指しました。各事業責任者からのメッセージで具体的な施策や市場環境を示すことや、持株会社体制移行での変化や実績を特に意識して編集いたしました。ID&Eグループをより一層ご理解いただくための一助となれば幸いです。

目次

イントロダクション	1	成長戦略		サステナビリティ・ESG	
マネジメントメッセージ		外部環境・リスクと機会	25	サステナビリティ経営	47
TOP MESSAGE	7	長期経営戦略	27	環境	49
財務担当役員メッセージ	12	新中期経営計画	29	社会	53
価値創造		特集：マトリクス経営	33	コーポレート・ガバナンス	57
ID&Eグループのあゆみ	13	マテリアリティ	35	役員一覧	59
ID&Eグループの事業内容とビジネスモデル	15	財務・非財務ハイライト	37	社外取締役座談会	61
ID&Eグループの3つの事業	17	事業別戦略	39	取締役会の実効性向上に向けた取り組み	65
ID&Eグループの強み	19	事業概況		委員会の活動	66
価値創造プロセス	21	コンサルティング事業	41	リスクマネジメント	69
財務・非財務資本	23	都市空間事業	43	コンプライアンス	71
		エネルギー事業	45	会社情報	73